

# 2019年度 一橋大学大学院経済学研究科

## 修士課程学生募集要項

本研究科が目指すのは、最先端の経済学の知識と高度な分析能力を備え、複雑な経済社会の現象を的確に把握し、重要な課題を発見し、これを解決することができる研究者および実務家を育成することです。そのために本研究科の修士課程では、ミクロ経済学、マクロ経済学、政治経済学、統計学・計量経済学、経済史の各分野において、コア科目を中心とする積み上げ方式のコースワークに基づいた体系的な教育システムを採用しています。また、修士専修コースでは、高度な専門知識を備えた実務家の育成を目的とする専門職業人養成プログラムも開設されています。したがって、本研究科に入学を希望する学生には、高い学習意欲と知的探究心を持ち、思考力と忍耐力を備え、経済学の基礎知識に加えて英語力を含むコミュニケーション能力を持っていることが望まれます。優秀な教授陣を擁し、世界的にもトップクラスにあると自負する私たちのプログラムに熱意ある学生が集まることを期待します。

### 1. 募集人員

本研究科の修士課程は、研究者養成コースと専修コースから構成されます。研究者養成コースは、博士後期課程への進学を前提として、広い視野に立って精深な学識を養い、高度の論理的思考能力と着想力、および先端的な研究能力を培うことを目的としています。専修コースは、修士号の取得で修了することを前提として、高度の専門性を要する職業等に必要の専門知識と分析能力、および実践的応用力を養うことを目的としています。専修コースの学生は、「公共政策」、「統計・ファイナンス」、「地域研究」または「医療経済」の4つの専門職業人養成プログラムのいずれかに参加することもできます。これらのプログラムへの参加選考については、入学後に説明します。なお、研究者養成コースと専修コースの修了要件は異なりますが、博士後期課程への進学要件は両コース共に同一です。

コース	専攻	募集人員
研究者養成コース	総合経済学	合わせて82名
専修コース		

注1) 募集人員には、「特別選抜」および「外国人特別選考」の募集人員も含まれます。

### 2. 出願資格

つぎの各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者および2019年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により、学士の学位を授与された者および2019年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における十六年の課程を修了し、B.A.またはB.S.を取得した者および2019年3月までに取得見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における十六年の課程を修了した者および2019年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における十六年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が三年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了することおよび当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者および2019年3月までに授与される見込みの者

- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が四年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第102条第2項（大学院への飛び入学）の規定により大学院に入学した者であつて、当該者をその後に入学させる本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者および2019年4月1日までに22歳に達する者
- (11) 所定の手続きにより、本研究科において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

注1) 出願資格(9)または(11)による志願者は、6月22日(金)までに経済学研究科事務室あてに、出願資格についてあらかじめ問い合せてください。

注2) 出願資格(10)による志願者は、出願期間の前に個別の入学資格審査を行います。個別の入学資格審査に必要な書類等を交付しますので経済学研究科事務室まで問い合わせてください。個別の入学資格審査に必要な書類の提出期間は、6月18日(月)から6月22日(金)までとします。入学資格審査結果は7月17日(火)頃に通知する予定です。

### 3. 出 願 書 類

	書 類 等	提 出 者	摘 要
1	入 学 志 願 票	全 員	交付の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付してください。
2	卒業(見込)証明書等	全 員	出身大学の学長または学部長が作成したもの、または大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書、もしくは短期大学長または高等専門学校長が発行する学位授与申請(予定)証明書。 上記出願資格(3)、(4)または(6)による志願者は、取得した学位(B.A.またはB.S.等)を明記した証明書をあわせて提出してください。 ただし、卒業見込みの者は卒業見込証明書をもって、また本学卒業(見込み)の者は成績証明書をもってこれに代えます。
3	写 真 票	全 員	交付の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付してください。
4	成 績 証 明 書	全 員	出身大学等の学長または学部長等が作成したもの。
5	学 業 評 価 書	全 員	交付の用紙を用い、出身大学等の指導教員もしくはこれに準ずる者が作成し、 <u>厳封</u> したもの(日本語または英語)。ただし、志願者の学習状況や研究能力等について十分な評価をなし得る者の学業評価書をもってこれに代えることができます。
6	「TOEFL」の成績証明書	全 員	平成28(2016)年9月以降に実施された「TOEFL」の成績証明書。 (1) ETS から直接、一橋大学に公式の成績証明書が送付されるように手配してください。 <u>出願期間前必着</u> です(本学の Institution Code は0436、経済学研究科の Department code は84)。 (2) ETS から志願者本人に送付された成績証明書の写しを提出してください。 *上記(1)と(2)の <u>両方</u> が必要です。 *TOEFL テスト ITP スコアの使用は認めません。
7	研 究 計 画 書	全 員	これまでの学習成果および今後の研究計画(研究の目的・重要性・方法等)について、2,000字以上3,000字以内にまとめたもの <u>4部</u> 。A4判で1ページ1,000字程度。
8	受験票送付用封筒	全 員	長形3号封筒(ハガキが入る大きさ)に、簡易書留相当分(392円)の郵便切手を貼付の上、受験票送付先の住所、氏名、郵便番号を明記してください。

9	住民票の写し（またはパスポートの写し）	外国籍を有する者	市区町村長が交付する住民票の写し（在留期間、在留資格を明記したもの）を提出してください。ただし、住民票の写しの発行が不可能な場合のみ、代わりにパスポートの写しを提出してください。
10	検定料 30,000円	全員	検定料30,000円分を以下の口座へ振り込み、明細書の写しを出願書類と一緒に提出してください（原本を提出しても特に希望がなければ返却はいたしません）。 銀行名：三井住友銀行 SWIFT Code：SMBC JP JT 支店名：国立支店 口座名：国立大学法人一橋大学経済学研究科検定料口 口座番号：普通預金 7761762 なお、日本政府（文部科学省）奨学金留学生は、検定料は不要ですが、その旨を証明する所属大学発行の証明書を提出してください。

注1）志願者が記入する書類は、すべて黒または青のペンまたはボールペンで記入してください。

注2）提出書類のうち英語以外の外国語で書かれた証明書等がある場合には、その日本語または英語訳を添付してください。

#### 4. 出願方法

- (1) 研究者養成コースと専修コースとの併願は認めません。出願後のコースの変更も認めません。
- (2) 出願者は、上記の出願書類を一括し（書類は上から上記の番号順になるように封入してください）、郵送（書留郵便）により提出してください。書類を持参しての出願は受け付けません。封筒の表面左下に「大学院出願書類在中」と朱書き、出願期間内に必着とします。ただし、出願期間を過ぎて到着したもののうち、7月30日（月）以前の消印のあるものは受け付けます。外国からの郵送は受け付けません。
- (3) 出願期間  
2018年7月26日（木）から8月1日（水）まで
- (4) 出願書類の提出先  
〒186-8601 東京都国立市中2丁目1番地 一橋大学大学院経済学研究科

#### 5. 選考方法

一次選考では、成績証明書、学業評価書、研究計画書、TOEFLの成績、および筆記試験の結果を総合して選抜を行います。一次選考合格者に対して二次選考を行います。二次選考では、成績証明書、学業評価書、研究計画書、筆記試験、および口述試験の結果を総合して可否を決定します。

#### 6. 筆記試験

筆記試験は、ミクロ・マクロ経済学、政治経済学、統計学・計量経済学、経済史の4科目から任意の1科目を選択してください。英語による解答も認めます。

- (1) 筆記試験期日・科目・時間

期 日	試験科目	試験時間	備考
2018年8月30日（木）	経済学	10:00～12:00	(1) 4科目から任意の1科目を選択。 (2) マークシート式の解答用に、HまたはHBの黒鉛筆と消しゴムを持参してください。 (3) 辞書の持ち込みは認めません。

## (2) 試験室への入室

受験者は各試験の開始時間30分前までに試験室に入室し、指定された座席に着席してください。

## (3) 試験室の発表

筆記試験の試験室は、2018年8月29日(水)13時に、大学院入試関係掲示板に掲示します。

## (4) 一次選考合格者発表

2018年9月12日(水)13時に、大学院入試関係掲示板に掲示します。

## 7. 口述試験

一次選考の合格者に対して、口述試験を行います。

### (1) 口述試験期日・時間・方法

期 日	試 験 時 間	試 験 方 法
2018年9月13日(木)	9:20~	研究計画書およびそれに関連する経済学の専門分野について口述試験を行います。

### (2) 試験室および時間割の発表

口述試験の試験室および時間割は、2018年9月12日(水)13時に、大学院入試関係掲示板に掲示します。

## 8. 試験場

東京都国立市中2丁目1番地 一橋大学

JR中央線 国立駅南口下車、南へ徒歩約10分

## 9. 合格者発表

2018年9月20日(木)13時に、大学院入試関係掲示板に掲示します。

なお、合格者には個別に通知します。

## 10. 入学手続き

### (1) 入学料の納入期間

2019年3月1日(金)から3月7日(木)まで

この期間内に納入がない場合は、入学辞退者とみなされます。

### (2) 入学料の納入額

282,000円

注) 本学には、入学料の免除・徴収猶予の制度があります。入学料の免除・徴収猶予を希望する場合は、入学料を納入せずに、学生支援課にて申請書類の交付を受けて、所定の期間内に申請を行ってください。入学料の納入後の免除・徴収猶予の申請はできません。また、申請を行っても不許可となることもありますので、入学料納入の準備は事前に十分行っておいてください。

### (3) その他

- ・入学手続きに必要な提出書類とその提出方法については、合格者に改めて通知します。
- ・日本国籍を有しない合格者は、入学までに、「出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)」において大学院入学に支障のない在留資格を有することが必要です。
- ・外国政府派遣留学生については、入学手続き時に派遣元機関からの入学承諾書が必要です。
- ・授業料(年額535,800円)については、入学後に納入することとなります。納入時期・納入方法については改めて通知します。
- ・入学料・授業料の納入金額は予定額であり、この納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金額が適用されます。

## 11. 注意事項

- (1) 入学試験に関する事務は、すべて経済学研究科事務室で行います。
- (2) 入学試験に関する照会は、書面、電子メール ([ec-kyomu@econ.hit-u.ac.jp](mailto:ec-kyomu@econ.hit-u.ac.jp)) または、ファックス (042-580-8195) で行ってください。電話による問い合わせには応じられません。
- (3) 障害等がある、受験上及び修学上特別な配慮を希望する場合は、出願に先立ち、経済学研究科事務室に必ず申し出て相談してください。
- (4) 試験の際には必ず受験票を持参してください。
- (5) 出願書類は返却しません。既納の検定料の払い戻しは行いません。また、各種証明書は必ず原本を提出してください。複写したものは受け付けません (ただし検定料振込明細書、パスポートならびに本人用 TOEFL 成績証明書の写しを除く)。
- (6) 入学試験合格者の成績は、入学後の教育・学業支援等の目的に使用することがあります。

### ※国際学生館景明館および国際学生宿舎 (学生寮) について

本学国際学生館景明館および国際学生宿舎 (学生寮) への入居希望者は、6月と12月 (予定) に本学ホームページに「入居者募集要項」を公表しますので、要項に従い申請してください。なお、6月は外国人留学生のみとなります。

▷日本人学生対象 (日本への永住が許可されている者も含む)

<http://hit-u.ac.jp/shien/campuslife/apartment.html>

▷外国人留学生対象 (「留学」の在留資格を有する者又は取得できる見込みの者)

[http://international.hit-u.ac.jp/jp/curr/accom/application\\_for\\_dorm/index.html](http://international.hit-u.ac.jp/jp/curr/accom/application_for_dorm/index.html)

学生区分により募集の資料の送付先や募集期間が異なります。

十分に注意して、上記のページから確認して下さい。

2019 年度一橋大学大学院経済学研究科  
 修士課程入学志願票(一般入試)

受験  
番号

※記入しないこと

志望コース名		<input type="checkbox"/> 研究者養成コース <input type="checkbox"/> 専修コース		志望専攻名	総合経済学専攻	
氏名	フリガナ					
	自国語表記					
	ローマ字表記	Family name	First name			
性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	国籍				
生年月日	19 年 月 日	年齢	才			
出身大学	大学		学部	学科		
	年 月 日		<input type="checkbox"/> 卒業 <input type="checkbox"/> 卒業見込			
研究題目						
現住所	〒		E-mail:			
			電話: 携帯電話(または緊急連絡先):			
合格通知・ 入学手続書 類送付先	(現住所と異なる場合のみ記入すること) 〒					
研究分野(複数選択可)	<input type="checkbox"/> ミクロ経済学 <input type="checkbox"/> マクロ経済学 <input type="checkbox"/> 政治経済学 <input type="checkbox"/> 統計学・計量経済学 <input type="checkbox"/> 経済史					
学歴  小学校入学 から記入 すること	学校名(所在地)		正規の 修業年限	在学期間(西暦)		専攻分野・ 取得学位等(大学)
			年	年 月 入学 年 月 卒業 ~		
			年	~		
			年	~		
			年	~		
			年	~		
以上を通算した全学校教育修学年数			年	年 月		
職歴	勤務先名(所在地)		年数	在職期間(西暦)		勤務内容
			年	年 月 年 月 ~		
			年	年 月 年 月 ~		
		年	年 月 年 月 ~			

**写真貼付欄**

1. 写真は最近 3 ヶ月以内に撮影した, 正面向, 上半身, 脱帽, タテ 6cm×ヨコ 4cm の大きさのものを枠内に正しく貼ること。  
 2. 写真の裏面に志望研究科・氏名を記入すること。

1. 記入は楷書またはローマ字体, 数字は算用数字を用いること。
2. 固有名詞はすべて正式な名称とし, 省略しないこと。
3. は該当するものにチェックを入れること。
4. 記入欄が足りない場合は, 別紙に記入の上, 添付すること。

2019年度  
一橋大学大学院修士課程  
入学試験写真票

経済学研究科	※ 受験番号
--------	-----------

氏 名	(ふりがな)	男・女
	(ローマ字)	
	年 月 日生	

写真貼付欄

1. 写真は最近3ヶ月以内に撮影した、正面向、上半身脱帽、タテ6cm×ヨコ4cmの大きさのものを枠内に正しく貼ること。

2. 写真の裏面に志願研究科・氏名を記入すること。

経済学	※
口述	※

記入上の注意

- 1 ※印欄は記入しないこと
- 2 性別を○で囲むこと

# 学業評価書

志願者 氏名

記入欄

今までの学習状況や研究成果、将来の研究計画、志願者について特記すべき能力など参考となる点をなるべく具体的にご記入ください。

西暦 年 月 日

評価者 (大学名等)

(職名等)

氏名

Ⓔ



# 一橋大学大学院経済学研究科要覧

- 1 大学院は、一般的並びに専門的教養を基礎として、社会科学の専攻分野を究め、高い学識と研究能力を養うことによって広く文化の向上発展に寄与すること又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことにより社会に貢献することを目的及び使命とする。(学則第33条)
- 2 本学大学院経済学研究科には、下記に掲げる授業科目がある。

## ○コア科目

上級マイクロ経済学	上級マクロ経済学	上級計量経済学	比較経済史	中級マイクロ経済学
中級マクロ経済学	中級計量経済学	上級政治経済学 I		

## ○ミクロ経済学

上級マイクロ経済学	中級マイクロ経済学	上級理論経済学 I・II	経済数学 I・II	数理経済学
経済システム論 I・II	ゲーム理論 I・II	特別講義(契約と組織の経済学)	特別講義(マーケット・デザイン)	上級国際経済学 I・II
国際経済政策論 I・II	国際経済開発論 I・II	上級労働経済学 I・II	人的資源論	上級産業経済学 I・II
都市空間論	産業地理学	経済立地論 I・II	経済社会空間論	公共経済学 I・II
公共経済特論 A~F	Contemporary Public Policy A~F		租税理論	公共支出論 A・B
法と経済学	医療経済学セミナー	医療経済分析	医療工学概論	医療経済論 II
医療保険論	医療産業論	健康増進政策論・医学総論	医療管理政策論	保健医療活動とリスク管理
上級環境経済学 I・II	上級資源経済学 I・II	上級技術経済学 I・II	環境・資源経済分析 A~F	上級現代経済論 I・II
実験経済学	特別講義(Behavioral Topics)	上級開発経済学 A~F	比較経済発展論	地域開発論
開発政策論	開発途上地域論	開発情報システム論	産業開発論	開発金融論
特別講義(アジア開発金融論)	開発援助論	開発と環境	応用マイクロ経済学 A~F	

## ○マクロ経済学

上級マクロ経済学	中級マクロ経済学	金融経済論 I(数値分析)	金融経済論 II(資産価格の実証分析)	
上級現代経済論 I・II	国際通貨論	国際経済機構論	国際経済関係論	応用マクロ経済学 A~F
特別講義(Value Investing in Asia)				

## ○経済統計・計量経済・情報数理

上級計量経済学	中級計量経済学	計量経済学特論 A~F	上級統計学 I・II	確率論 I・II
確率・統計特論 A~F	中級計量ファイナンス	計量ファイナンス A・B	ファイナンス経済論 A・B	計量ファイナンス特論 A~F
特別講義(金融工学とリスクマネジメント)		経済データ分析論	統計調査論	数理構造 I・II
数理解析 I・II	古典解析	応用数理	比較統計システム論	

## ○政治経済学・経済思想

上級政治経済学 I・II	経済体制特論	経済システム論 I・II	経済学史応用 I・II	比較経済システム論
比較経済思想	移行経済論	新興市場経済論	各国経済思潮 A・B	

## ○経済史

比較経済史	現代経済史	文明史	経済史特殊問題	西洋経済史
東洋経済史	日本経済史	比較経済システム論	比較経済発展論	

## ○地域経済

日本経済論	地域経済論 A~F	地域研究方法論	日本経済特論	東アジア経済特論
南アジア経済特論	西アジア経済特論	地域経済各論(日本)	地域経済各論(アジア・オセアニア)	地域経済各論(アフリカ・中近東)
地域経済各論(アメリカ)	地域経済各論(ヨーロッパ)	地域経済各論(ロシア・中東欧)	地域開発論	開発途上地域論
移行経済論	新興市場経済論	各国経済思潮 A・B		

## ○語学・演習・ワークショップ等

Academic and Professional Presentations I・II	Research-Based Academic Writing I・II	経済学研究の日本語(留学生用)
演習	リサーチ・ワークショップ	インディペンデント・スタディ
	ワークショップ	

- 3 修士課程では、2年以上在学し、演習を含む所定の授業科目を履修し、別に学位論文を提出しなければならない。
- 4 博士後期課程は、3年以上在学し、演習を含む所定の授業科目を履修し、別に学位論文を提出しなければならない。
- 5 いずれの課程においても、特に優秀と認められた学生には、特例として在学期間の短縮が認められる。

2019年度 一橋大学大学院経済学研究科担当教員一覧(予定)

[氏名]	[役職]	[専門分野]	[氏名]	[役職]	[専門分野]
阿部 修人 ABE, Naohito	教授	マクロ経済学、日本経済論、家計消費	岡田 羊祐 OKADA, Yosuke	教授	産業組織論、競争政策、規制政策
有本 寛 ARIMOTO, Yutaka	准教授	開発経済学、日本経済史、農業経済学	岡室 博之 OKAMURO, Hiroyuki	教授	産業組織論、企業経済学
榎本 武文 ENOMOTO, Takefumi	准教授	ルネサンス期における人文主義・修辞学、ルネサンス期における古典学研究	奥田 英信 OKUDA, Hidenobu	教授	開発金融論、開発経済学
深尾 京司 FUKAO, Kyoji	教授	マクロ経済学、経済発展論、国際経済学	小塩 隆士 OSHIO, Takashi	教授	公共経済学、社会保障
後藤 玲子 GOTOH, Reiko	教授	厚生経済学、経済思想・哲学	大月 康弘 OTSUKI, Yasuhiro	教授	経済史、西洋中世史、地中海地域研究
橋沼 克美 HASHINUMA, Katsumi	教授	各国経済思潮・英米	齊藤 誠 SAITO, Makoto	教授	マクロ経済学、金融経済学、ファイナンス理論
本田 衛子 HONDA, Eiko	准教授	社会保障論、医療経済	笹倉 一広 SASAKURA, Kazuhiro	准教授	各国経済思潮・中国
本田 敏雄 HONDA, Toshio	教授	数理統計学、計量経済学	佐藤 宏 SATO, Hiroshi	教授	中国経済論、中国現代史
井伊 雅子 II, Masako	教授	医療経済学、公共経済学	佐藤 正広 SATO, Masahiro	特任教授	近代日本社会経済史、近代日本統計調査史
今村 和宏 IMAMURA, Kazuhiro	准教授	日本語教授法、社会科学の日本語	佐藤 主光 SATO, Motohiro	教授	財政学、公共経済学
石川 城太 ISHIKAWA, Jota	教授	国際経済学、産業組織論	塩路 悦朗 SHIOJI, Etsuro	教授	マクロ経済学、日本のマクロ経済
石倉 雅男 ISHIKURA, Masao	教授	政治経済学、経済学史	杉田 洋一 SUGITA, Yoichi	講師	国際貿易論、産業組織論
磯部 健志 ISOBE, Takeshi	教授	数学、解析学	多鹿 智哉 TAJIKA, Tomoya	講師	ゲーム理論、政治経済学、組織の経済学
祝迫 得夫 IWASAKO, Tokuo	教授	ファイナンス、実証マクロ経済学	高柳 友彦 TAKAYANAGI, Tomohiko	講師	近現代日本経済史、近現代日本史
岩崎 一郎 IWASAKI, Ichiro	教授	比較経済論、移行経済論	武田 真彦 TAKEDA, Masahiko	教授	金融論、金融政策論
陣内 了 JINNAI, Ryo	准教授	マクロ経済学、金融論	武岡 則男 TAKEOKA, Norio	教授	意思決定理論、ミクロ経済学
神林 龍 KAMBAYASHI, Ryo	教授	労働経済学、経済発展、法と経済学	竹内 幹 TAKEUCHI, Kan	准教授	公共経済学、実験経済学
加納 隆 KANO, Takashi	教授	マクロ経済学、国際金融論	田中 万理 TANAKA, Mari	講師	開発経済学、労働経済学、国際貿易
北村 行伸 KITAMURA, Yukinobu	教授	応用計量経済学、ミクロ計量経済学、公共経済学	富浦 英一 TOMIURA, Eiichi	教授	国際経済学、応用計量経済学、日本貿易産業論
雲 和広 KUMO, Kazuhiro	教授	移行経済論、ロシア経済論	友部 謙一 TOMOBE, Kenichi	教授	日本経済史近世以降、歴史人口学
黒崎 卓 KUROSAKI, Takashi	教授	開発経済学、農業経済学、アジア経済論	津田 照久 TSUDA, Teruhisa	教授	数学、複素領域の微分方程式
黒住 英司 KUROZUMI, Eiji	教授	時系列分析、計量経済学	都留 康 TSURU, Tsuyoshi	特任教授	人事経済学、人的資源論
桑名 陽一 KUWANA, Yoichi	准教授	数理統計学、応用確率論	堤 雅彦 TSUTSUMI, Masahiko	准教授	経済政策論(国際経済、マクロ経済、日本経済、社会保障)
馬 欣欣 MA, Xinxin	准教授	中国経済論、労働経済学	植杉 威一郎 UESUGI, Ichihiro	教授	企業金融、中小企業、日本経済
真野 裕吉 MANO, Yukichi	准教授	開発経済学、地域経済学	宇井 貴志 UI, Takashi	教授	ミクロ経済学、ゲーム理論
増田 一八 MASUDA, Kazuya	講師	開発経済学、教育経済学、医療経済学	宇南山 卓 UNAYAMA, Takashi	准教授	日本経済論、応用計量経済学
松下 幸敏 MATSUSHITA, Yukitoshi	准教授	計量経済学	白井 恵美子 USUI, Emiko	准教授	労働経済学、応用計量経済学
南 裕子 MINAMI, Yuko	准教授	現代中国社会論、地域社会学	渡辺 智之 WATANABE, Satoshi	教授	財政学、租税法、法と経済学
森 直人 MORI, Takahito	准教授	西洋経済史、ヨーロッパ都市史	渡部 敏明 WATANABE, Toshiaki	教授	計量ファイナンス、マクロ計量分析
森口 千晶 MORIGUCHI, Chiaki	教授	比較経済史、比較制度分析、家族の経済学	山田 俊皓 YAMADA, Toshihiro	准教授	確率数値解析、ファイナンス数学
森田 穂高 MORITA, Hodaka	教授	産業組織論、組織経済学	山本 庸平 YAMAMOTO, Yohei	教授	計量経済学、マクロ経済分析、国際金融
中山 能力 NAKAYAMA, Chikara	教授	数学、代数学	山重 慎二 YAMASHIGE, Shinji	教授	財政学、公共経済学、社会政策
西出 勝正 NISHIDE, Katsumasa	教授	金融工学、金融経済学	山下 英俊 YAMASHITA, Hidetoshi	准教授	環境・資源経済学、廃棄物政策、エネルギー政策
岡部 智人 OKABE, Tomohito	講師	マクロ経済学、政治経済学	横山 泉 YOKOYAMA, Izumi	准教授	労働経済学、応用計量経済学

○教員の詳細については、以下ウェブページを参照してください。

<https://hri.ad.hit-u.ac.jp>